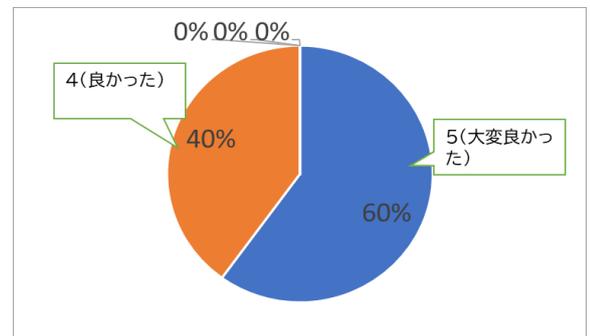


2025年7月27日市民学習会 アンケートの要約版です。

参加者66名中30名回答がありました。(Googleフォームは4名)

1. 講師の話やワークショップを通じて、新たに気づいたこと・印象に残ったこと(要約)

- **杉並区長選の学び**
杉並区長選挙の経過や背景、市民運動の役割について理解が深まった。特に、地域での長年の活動や横のつながりが勝因であることに感銘を受けた。
- **市民参加と住民運動の重要性**
地道な活動の積み重ね、対話、行政・議会・市民の協力が必要との認識が強まった。選挙だけでなく継続的な市民運動が大切との意見が多い。
- **政治・選挙の課題**
非正規職員や労働条件の問題、多選・高齢・世襲の制限、政治リーダーの新しい価値観の必要性が指摘された。
- **選挙の柱・争点**
公共の再生、地域の主権、人権と多様性といった明確な争点設定が共感呼んだとの評価。
- **上尾市への示唆**
上尾市長選に向け候補者選定や準備を急ぐべき、トップ交代だけでなく仕組みや中身を変える必要があるとの意見。
- **その他の感想**
講師の話がわかりやすかった、現実的な課題から話が始まった点良かった、希望を見せてほしい、常識論にとどまらない具体性が望まれるなどの声があった。



2. 今回の学びを、あなたの地域や日常生活にどのように活かせそうですか?要約

- **政治参加への意識向上**
市長選や投票への参加意欲が高まり、地域や身近な課題を自分事として関心を持つ必要性を感じた。
- **市民活動・対話の重視**
地域の人や団体と対話し、勉強会や議論の場をつくる、SNSで情報発信するなど、市民主体の活動を広げたいとの声が多い。
- **地域課題への応用**
子育て支援、教育環境づくり、障害者支援、文化活動など自分の活動分野で学びを活かしたいという具体的な意見があった。
- **リーダー育成の必要性**
地域の世話役・リーダーが不足しており、育成が重要との指摘。
- **異なる地域文化への課題感**

上尾市の文化や民度の違いから直接活用が難しいと感じる意見もあった。

- **政治以外の影響力**
選挙だけでなく、事業や投資なども社会への影響手段になり得るとの視点。
- **広い視野の必要性**
地域課題と国の課題はつながっており、ミクロとマクロの両視点を持つリーダーが必要との意見。

3. 市内に暮らす中で一番問題だと感じていること・気がかりなことは何ですか？(要約)

- **市民の声が届かない問題**
市政が市民の意見を聴かず、行政と市民の距離が遠いとの不満が多数。情報公開や行政の透明性不足も指摘された。
- **地域・コミュニティの衰退**
地域のつながりの希薄化、自治会活動の高齢化、一人暮らし高齢者の支援不足が懸念されている。
- **子ども・教育への懸念**
子どもの居場所不足、不登校・引きこもり・貧困、教育予算の不足、小中学校統廃合など、子どもや弱者の軽視が問題視されている。
- **都市計画と環境の問題**
緑地や公園の減少、雑な都市計画、住宅乱立、公共の縮小、再生可能エネルギー導入の遅れなどが課題。
- **経済・生活コスト**
電気代・食費・住宅費の高騰、農業予算の低さ、地域経済の課題が挙げられた。
- **行政運営の質**
市役所職員のスキル不足や課の連携不足によるコスト増、業務文化の改善の必要性が指摘された。
- **大規模開発と地域のバランス**
物流倉庫の増加など国の方針に沿った開発に対し、生活の質や地域視点の欠如を懸念する声。

4. その他要約

- **市長選・候補者への期待**
有力候補者の擁立を求める声、杉並区のような参加型市政を目指すべきという意見、具体的な政策(子育て支援・高齢者対策・女性活躍など)を掲げる市長を望む声が多い。
- **行政運営・市民サービス改善**
市民目線の市政、公団住宅活用、ゴミ分別や回収日改善、市 HP のリニューアル、情報公開の丁寧化、行政と市民の対話促進を求める意見。
- **学びや企画への評価と要望**
講師の話や対話型の姿勢を高く評価し、Q&A の時間延長、ドキュメンタリー映画上映や集会開催など継続的な活動を希望。
- **政治・社会課題への懸念**
外資による不動産取得や大企業と行政の結託、DX・AI 導入の費用負担、少子化などへの問題意識。
- **リーダー像の提案**

視野が広く、市民の声を反映できる人物、私利私欲に走らない人物を求める声。

5. まとめ(市民意見統合)

1. 政治参加・意識変化

- (1) 市長選や地方選挙に積極的に参加したいという声が多く、投票率向上や市民主体の運動を求める意見が目立つ。
- (2) 「日常の延長に選挙がある」「対話型の政治」という考え方に共感が広がっている。
- (3) 政党にこだわらず、草の根的な活動や市民同士の対話の場を継続したいという意向。

2. 行政・市政への要望

- (4) 市民目線での市政運営、透明性の高い情報発信、HP や資料の分かりやすさ向上を求める声。
- (5) ゴミ分別や回収日改善、公団住宅活用、子育て支援、高齢者の移動支援など具体的な生活課題への対応を望む。
- (6) 参加型予算や住民の声を反映する仕組みを導入すべきという意見。

3. 地域活動・コミュニティ形成

- (7) 地域の文化活動や子どもの学び環境づくり、異なる立場の人との対話促進が重要との認識。
- (8) 地域リーダーや世話人の育成が不足しているとの指摘。
- (9) SNS や勉強会を通じて市民同士の情報共有や啓発活動を広げたい。

4. 社会課題への懸念

- (10) 外資による不動産取得、大企業と行政の癒着、DX・AI 導入のコストや公平性などへの不安。
- (11) 少子化対策や物価高対策について、短期的コスト削減だけでなく持続的な利益構造を検討すべきとの声。
- (12) 地域課題と国の課題は密接に関連しているという認識。

5. 今後の活動への期待

- (13) 対話型のイベントや上映会、討論会の継続開催。
- (14) 有能で視野の広い市長候補の擁立、または外部からの招聘。
- (15) 市民と行政の協働による「参加し続ける政治文化」の醸成。